



クラブ 会報

CLUB BULLETIN (WEEKLY)

鶴岡ロータリークラブ

TSURUOKA ROTARY CLUB

D-253

創立 S 34.6.9

承認 S 34.6.27

例会場	鶴岡市馬場町	物産館3階ホール
例会日	毎週火曜日	12:30-13:30
事務所	鶴岡市馬場町	商工会議所内
		電話 0235 (2) 5775

会長	小松	広	穂
幹事	皆川	英	二
会報委員	上野	三	郎
	高橋	耕	二
	内板	喜	一
		俊	次

No., **1048** 1980. 3.11 (火) (曇) No.,35

ウィンター紹介

齋藤吉雄君	陶管設備	大川俊一君	海上保険	} 鶴岡西R.C
佐藤幸助君	ガス供給	阿宗健一郎君	配管工事	
米山奨学生エテバリー君に奨学金				

会長・幹事報告

本日の持廻り理事会で池田昭太郎君の所属はS.A.A委員会と決定しました。

◆ 挨拶

交換学生 梅木江理さん

鶴岡北高校2年の梅木江理です。鶴岡ロータリークラブのお力添えで、今春オーストラリアへ行かれることになり深く感謝しております。

LET SERVICE LIGHT THE WAY

奉仕の灯で 道を照らそう

私が行くトロントロータリークラブはシドニーから北へ140 kmほど行った所で、湖に面しており水泳、水上スキー、スキндаイビングなど、各種の水の上スポーツが大変盛んだそうです。

去年の12月下旬にカウンセラーから手紙が届き、今ではホスト・ファミリーからの手紙も合わせて6通にもなりました。

オーストラリアへ行ったら

- 日本人としての自覚と誇りをもつ。
- 物事に対して、自分の意見や考え方をはっきり持つ。
- 積極的に友達を作る努力をする。

この3つを常に心がけ、行動したいと思います。

又、日本を離れることにより、自分の今までの生き方や、学校生活、家族など、身近なことに対して、改めて考えてみるよいチャンスだと思っています。

言語や習慣などの違いで、多少の不安はありますが、帰国してから「有意義な1年間でした」といえるよう頑張ってきます。

本日のご招待どうもありがとうございました。

◆ 会員スピーチ

ロータリー創立記念日と世界理解週間について 張 紹淵 君

今年のロータリー手帳をみると、主な年間行事のところに、ロータリー創立記念日、2月23日と世界理解週間が2月23日を含む週間とあり、ロータリー創立75周年であり、私もおかげ様でロータリーを学び、ロータリー例会を楽しませてもらってから満20年無欠席賞をもらいましたので、一躍ロータリーの先輩のような気がしまして、この度の機会に私のロータリーの楽しみを分かち合いたいと思って、1.ロータリーとは何か、2.ポール・ハリス精神とは何か、3.奉仕の理想の定義は、4.国際奉仕とは何か、5. R. I の国際奉仕の方針と私達の責任とは何か、6.世界社会奉仕とは何か、7.鶴岡ロータリークラブの世界理解週間の過去と今在、8.世界理解週間の一週間の範例プログラムは、の順に話しを進めたいと思います。

1. ロータリーとは何か

それはポール・ハリス精神を有する会合であります。

2. ポール・ハリス精神とは何か

それは人は死ななければならぬ。人間の一生は淋しいものである。同じ心で、真に心で話しが出来る友人を集めて、お互いに慰め合い、自分各自の職業を通じて、誠心・誠意に努め、お互いに繁栄をして、それから他人に慈善的であり、

世の中の教育的なことを実施して、親睦と思いやりと助け合いを強調したものであります。その後理想的な奉仕は何んであるかを考え及んだのが奉仕の理想であります。

3. その奉仕の理想とは何か

であります。それには3つの条件があります。①は利他的奉仕に基づく慈善であり、②は利他的奉仕に基づく教育的なこと（プログラム）の実施であり、③その実施したこと（プログラム）が利己的奉仕と解釈され得ない奉仕が奉仕の理想であり、理想的な奉仕であると私が定義します。又これが超我の奉仕とも云うものと私は信じています。次に、

4. 国際奉仕とは何か

ですが、それは御承知の通り、ロータリアンが、他国の人々の①文化、②習慣、③業績、④抱負、⑤問題をよく知ることによって、国際間の理解と善意と平和を推進するために行なう種々の事柄をいいます。

そして、他国の人々をよく知る方法としては、各自の地域社会における①個人的接触を通じて、或は②旅行や、③国際大会出席によって、又④読書、⑤絵、⑥音楽、⑦通信、⑧電話、⑨電信、⑩直接訪問によって、更には又、⑪他国の人々に役立つようなクラブ活動への協力を通じて行なうことが考えられます。これを強化するためには、国際理事会は、それには国際奉仕委員会を置くように、①世界社会奉仕、②国際青少年計画、③ロータリー財団とありまして、④その他必要に応じて、他の小委員会をつくって、おきかえたり、追加したりすることをおすすめしています。次に

5. R. I の国際奉仕の方針と私達の責任はどんなものか

別紙にコピーして配布しました通りで、これを二ツ折りして、電車の中や暇なときに一目瞭然としてわかるようにしていますので、正しいロータリーの国際奉仕がおわかりと思います。次に、

6. 世界社会奉仕とは何か

ですが、それは、跨がった、異国のあるロータリークラブが、その地域社会でやり甲斐のある計画を遂行するのに①必要な情報、②技術、③人、④器具、又は⑤資金を入手するために、海外の一つ又は幾つかのロータリークラブと協力する機会を提供する、という一つの国際奉仕活動であります。

以上が世界理解週間を理解する基礎知識であります。次に、

7. 鶴岡ロータリークラブの世界理解週間の今昔であります

昔、鶴岡ロータリークラブ創立2年目の1960年（昭35）3月24日が第1回目です。張君が国際外科学会招聘講演に世界一周して、訪問するクラブに前もって、あいさつ状を出しながら“鶴岡R.Cの或る日の例会”の16ミリカラーフィルムを持って、17本のバナーを交換して、医師会館で映写し文通したりしたの

が初めて、それから回を重ねて、昨年は齋藤栄作先生、迎田先生が個人として何が世界理解を促進すればよいか。それに各ロータリアンの責任についての記載がありました。その会報の記載は懐しいものがあります。

昔は、R. I 理事会は、毎年9月15日を含む週を「世界理解週間」として設定し、この特別の週にクラブは、世界平和に重要な理解と親善とを特に強調したクラブ・プログラムやその他の活動を提供するよう勧告していますが、1975年（昭50）に改訂されて、2月23日を含む週を毎年特別に記念すべき「世界理解週間」と定め、各クラブに対し、この週間中に世界平和に不可欠な理解、親善を特に強調したクラブ、プログラムやその他の活動を行ない、また世界社会奉仕を中心としたプログラムをもって、この特別週間を遵奉するよう要請されています。

8. “世界理解週間”のその1週間の日程の例として

- (1) 日曜日：宗教団体と一緒に世界平和の祈禱をする。
- (2) 月曜日：市長さんをお願いして、世界理解週間のの意味を教え、報道機関を通じて布告をする。（新聞・ラジオ・テレビ）
- (3) 火曜日：海外から来た書籍・雑誌を公開展示会をする。
- (4) 水曜日：会を催し、内外の世界理解の功労者の表彰をする。
- (5) 木曜日：テレビで他国のクラブのスライド、フィルムを公表する。
- (6) 金曜日：世界理解の主旨にピッタリ合うような、彼等の身になっての国際討論会をする。
- (7) 土曜日：国際舞踏会、私宅開放もよし、友情を最高潮に高める。

この週間行事は毎年国際奉仕委員長宛に行事のためのガイド・キットが届く筈であります。なければ、事前に R. I に請求すればよいかと思えます。矢張り世界の各国の国際ロータリークラブが同じ歩調でもって、国際奉仕の同時展開の機会として指定されて、奉仕の理想に結ばれた実業人と専門職業人の世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進強調する週間で、最小限、例会にても、世界の調和のとれた平和の祈願をしたいと思えます。

一同黙禱！

ありがとうございました。

国際奉仕における国際ロータリーの方針

目的：

ロータリーにおける国際奉仕の目的は、奉仕部門の第四に示されている、即ち奉仕の理想に結ばれた実業人と専門職業人の世界的親交によって国際間の理解と善意と平和を推進することを奨励し、育成するにある。

ロータリーの奉仕の理想は、個人の自由、思想、言論、集会の自由、信仰の

自由、迫害と侵略からの解放、及び欠乏と恐怖からの解放の存する処にのみこれを発揮することが出来るのである。

自由、正義、真理、誓言の神聖、及び人権の尊重は、ロータリーの原理の中に内在するものであり、そして又国際間の平和と秩序の維持及び人類の進歩にとって不可欠のものである。

個々の会員の責任：

ロータリアン各自は、奉仕の第四部門に属する理念の達成に個人的寄与を行なうことを要請されている。

ロータリアン各自は、自己の国家に対して、忠誠にして奉仕的な国民たるべく、自ら日常生活と職業活動とを変えることを要請されている。

ロータリアン各自は、どこにしようと、個人として働く場合、十分な知識の裏づけのある世論を作り出すことに力を致さなければならない。このような世論は、必ずや国際理解としての人類に対する親善の増進に関する政府の政策に影響を与えずにはおかないであろう。

世界意識を持つロータリアンとして：

- (イ) ロータリアンは、せまい愛国主義を越えて、国家間の理解と親善と平和の推進に対する責任を分担していることを自覚する。
- (ロ) ロータリアンは国家的又は人種的優越感をもって行動するいかなる傾向にも反対する。
- (ハ) ロータリアンは、他国の人々との協調について共通の基盤を求め、それを拡大する。
- (ニ) ロータリアンは、個人の自由を守るために法と秩序の支配を擁護し、以て思想、言論、集会の自由、迫害と侵略からの自由及び欠乏と恐怖からの自由を享受することができるようにする。
- (ホ) ロータリアンは、どこかに貧困があれば全体の繁栄が脅されることを考え、世界のすべての人々の生活水準を向上することを目した活動を支持する。
- (ヘ) ロータリアンは、人類に対する正義の原則を支持し、この原則は基本的なものであって広く世界中に行われなければならないことを認める。
- (ト) ロータリアンは、常に国家間の平和を推進することに努め、この理想のためには喜んで個人的犠牲を払う用意がある。
- (チ) ロータリアンは、国際親善への一步として、他人の信条を理解するという精神を強調し、実践し、そして、ある基本的な道德的、精神的基準が存在し、それが実行されれば、必ず豊かな充実した人生が実現するものと確信する。

ロータリー・クラブの責任：

ロータリー・クラブは、政府や世界問題や或は国際間の政策に影響を与えるような団体的行動を取ってはならない。そうではなくて、ロータリー・クラブ

10061

は個々の会員に対して、これらの重要な問題についての知識を与えることに精力を捧げ、それによって会員が啓発された、建設的な心構えを作り上げるようにすべきである。

ロータリー・クラブは当然、公共の問題を取り上げるために、奉仕の第四部門を育成するような目論見の下に、討論を催することが出来る。もし問題が論争点を含む場合には、双方の側が適切に意見発表を許されることが肝要である。

ロータリー・クラブにおいて、国際問題が取り上げられ論ぜられる場合、他国の人々の感情をそこなうようなことは避けるように注意しなければならない。そして、ロータリー・クラブの会合において、各発言者によって表明された意見に対してロータリー・クラブは必ずしも責任を負うものではないことを明らかにしておかなければならない。

ロータリー・クラブは、国際問題に関する特定の計画を取扱う如何なる決議をも採択してはならない。ロータリー・クラブは、或る国のクラブから他の国のクラブ、国民、或は政府に対する行動要請を行なってはならない。又、特定の国際問題の解決に関する意見や提案を配布してはならない。

ロータリー・クラブのある国と国との間に国際関係が緊迫している場合には、関係国及びその他の国々のクラブは、如何なる行動も悪意や誤解を増すことのないよう、最大の注意を払わなければならない。

国際ロータリーの立場：

国際ロータリーは、多数の国に存在する雑多な見解を持ったクラブから成立っている。故に政治問題に関しては、国際ロータリーは如何なる団体行動も取らず、如何なる意見の表明も行わない。

出席報告

本日の出席	会員数	72名	欠席者	秋野君、五十嵐君、石原君、板垣(広)君、風間君、黒谷君、三浦君、皆川君、本山君、熨斗君、斎藤(栄)君、斎藤(得)君、斎藤(利)君、笹原君、佐藤(昇)君、佐藤(友)君、玉城君、津田君、渡会君、吉野君
	出席数	52名		
	出席率	72.22%		

前回の出席	前回出席率	77.78%	メア 1ツ クラブ	阿部(襄)君—余目R.C 阿部(与)君、五十嵐君、黒谷君、三井(賢)君 本山君、中野君、佐藤(昇)君、鷺田君、山口君—鶴岡西R.C
	修正出席数	66名		
	確定出席率	91.67%		